



2021年5月12日

各位

会社名 トナミホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 綿貫 勝介
(コード番号 9070 東証第1部)
お問合せ先 専務取締役 高田 和夫
(TEL 0766-32-1850)

『新・中期経営計画』の策定に関するお知らせ

当社は、このたび2023年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画を策定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 新・中期経営計画の概要

(1) コーポレートスローガン

『TONAMI NEW PLAN 2023』

(2) 期間

「2021年4月1日」～「2024年3月31日」までの3ヶ年

(3) 基本方針

DXによる業務効率化をさらに推進し生産性を上げ物流サービスと輸送事業の連携強化により、新たな社会構造の中で中長期的な成長を持続する。

(4) 重点戦略

- ① 輸送サービスと物流サービスの連携強化・新規流通センター開発、M&Aや事業再編による事業の成長
- ② TDx (TONAMI デジタルトランスフォーメーション) による業務効率の向上と物流・輸送の高度化
- ③ 多様な人材を採用確保、事業形態や地域特性に応じた人事制度の構築
- ④ 自己資本比率の向上と安定した資本政策
- ⑤ 経営品質 (CSR・BCP) と成長性 (ESG) 評価や社会的認知度の向上

2. 数値目標について

○連結業績目標

(金額単位：百万円)

項目	2020年度	2023年度
	(実績)	(最終年度)
営業収益	134,695	160,000
営業利益	6,455	8,000
営業利益率	4.8%	5.0%
経常利益	7,146	8,300
経常利益率	5.3%	5.2%
税引後当期純利益	4,660	5,200
当期純利益率	3.5%	3.3%
ROA (総資産経常利益率)	4.8%	5.3%
ROE (自己資本当期純利益率)	6.3%	6.0%
ROIC (投下資本営業利益率) ※	4.4%	5.0%

※ ROIC = [営業利益 × (1 - 税率)] ÷ (株主資本 + 有利子負債)

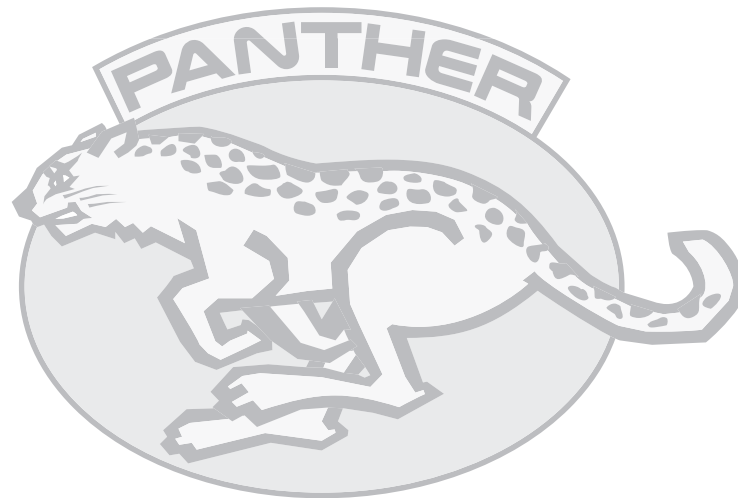
※詳細につきましては、別紙資料をご参照ください。

以上

第22次中期経営計画

(2021年4月1日～2024年3月31日)

TONAMI New Plan 2023



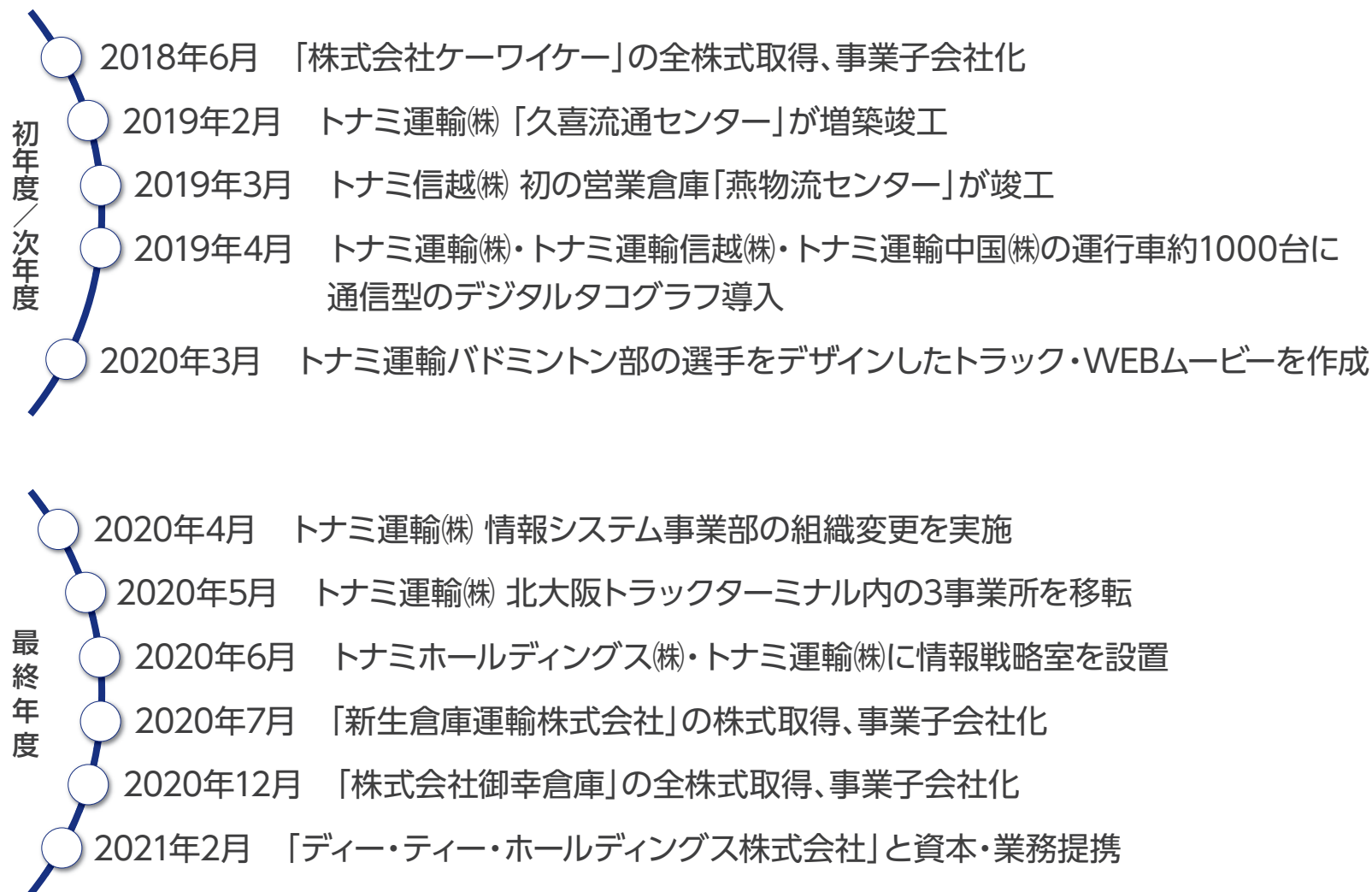
トナミホールディングス株式会社

目次

1. 第21次中期経営計画の総括
2. 経営を取り巻く環境
3. 第22次中期経営計画 TONAMI New Plan 2023
4. 戦略ロードマップ
5. 重点戦略
6. 数値目標

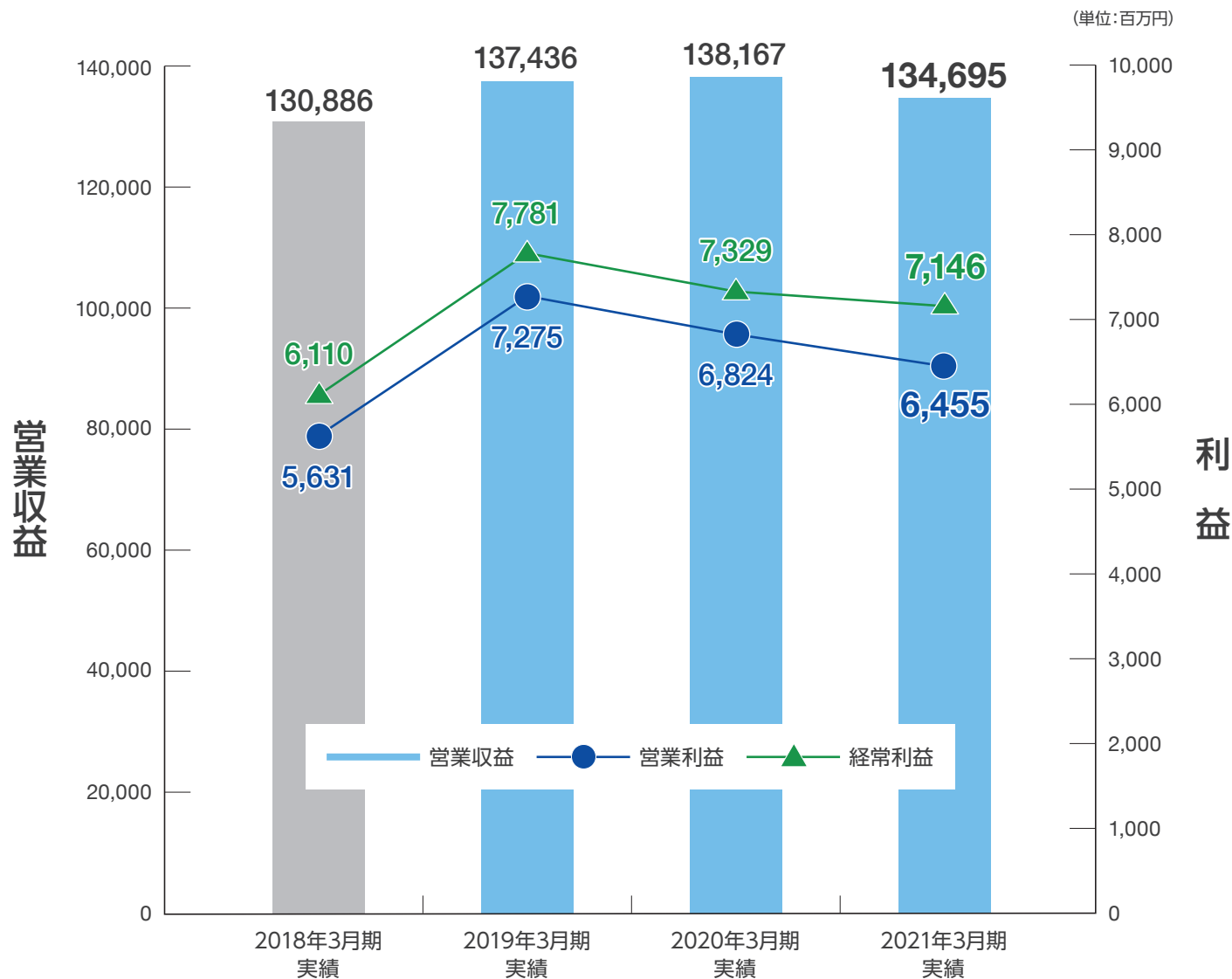
1. 第21次中期経営計画の総括

(1) 取組み



1. 第21次中期経営計画の総括

(2) 連結業績推移



2. 経営を取り巻く環境

❖ 業界・市場動向

- 国内物流の減少傾向と積み荷選択
- 3PLや特殊貨物市場は需要安定
- 物流の地域格差への対応
- 輸送システムの革新チャレンジ
- ネット通販宅配物流の増加
- 中小事業者の事業継続が困難
- 慢性的なドライバー不足

❖ 社会動向

- アフターコロナ社会変化
- 経済低迷による消費減少
- 生産労働人口の減少、高齢化
- 長期化するデフレ傾向
- 米中関係悪化によるグローバルサプライチェーンの破綻と再生
- 国際情勢の悪化、輸出減少

❖ 荷主様

- ネット通販ビジネスの拡大
- 物流コストの上昇への対応
- 集約物流への転換
- BCPなど拠点移動
- M&Aによる業者転換
- 物流品質への関心
- 輸出入一貫物流の効率化

❖ 情報技術の適用

- IoTやロボットによる技術革新
- 車載端末情報活用
- 交通情報や電子マップの活用
- AI・インターネットによる業務効率化(WMS、TMS)
- 集約物流システムや適正配車
- 荷主WEBポータルやEDIによる連携促進

❖ 雇用／従業員

- 人員採用困難
- 長距離ドライバー採用困難
- 高齢化や若年労働力不足
- 賃金の上昇と定着化推進
- 幹部候補の育成
- ダイバーシティへの対応

3. 第22次中期経営計画

スローガン

TONAMI New Plan 2023

新 たな社会構造の中で、過去最高の業績目標に加え、DX(デジタルトランスフォーメーション)を活用した物流システムの展開やM&A、設備投資の積極展開など、トナミグループとして新しい経営ステージを目指すことで、社会の持続的な発展へ貢献してまいります。

3. 第22次中期経営計画 TONAMI New Plan 2023

基 | 本 | 方 | 針

DXによる業務効率化を更に推進し生産性を上げ、
物流サービスと輸送事業の連携強化により、
新たな社会構造の中で**中長期的な成長を継続**する

重点戦略

- ▶ 特別積合せの複合ビジネスとしての戦略展開によるロジスティクスビジネスの成長
- ▶ TDXによる業務効率の向上 (TONAMI デジタルトランスフォーメーション)
- ▶ 多様な人材を採用確保、事業形態や地域特性に応じた人事制度の構築
- ▶ 自己資本比率の向上と安定した資本政策
- ▶ 経営品質 (CSR・BCP) と成長性 (ESG) 評価や社会的認知度の向上

4. 戦略ロードマップ



5. 重点戦略

事業の成長

輸送サービスと連携を強化した物流サービスの 開発による事業展開、M&Aや事業再編の推進

2021年9月開設予定

京神倉庫(株)箕面支店倉庫(大阪府箕面市)



2021年秋開設予定

トナミ運輸(株)春日部流通センター*(埼玉県春日部市) ※仮称



5. 重点戦略

事業基盤の变革

TDXによる業務効率の向上 (TONAMI デジタルトランスフォーメーション) 物流輸送の高度化

2021年4月 KSR(株)からトナミシステムソリューションズ(株)へ

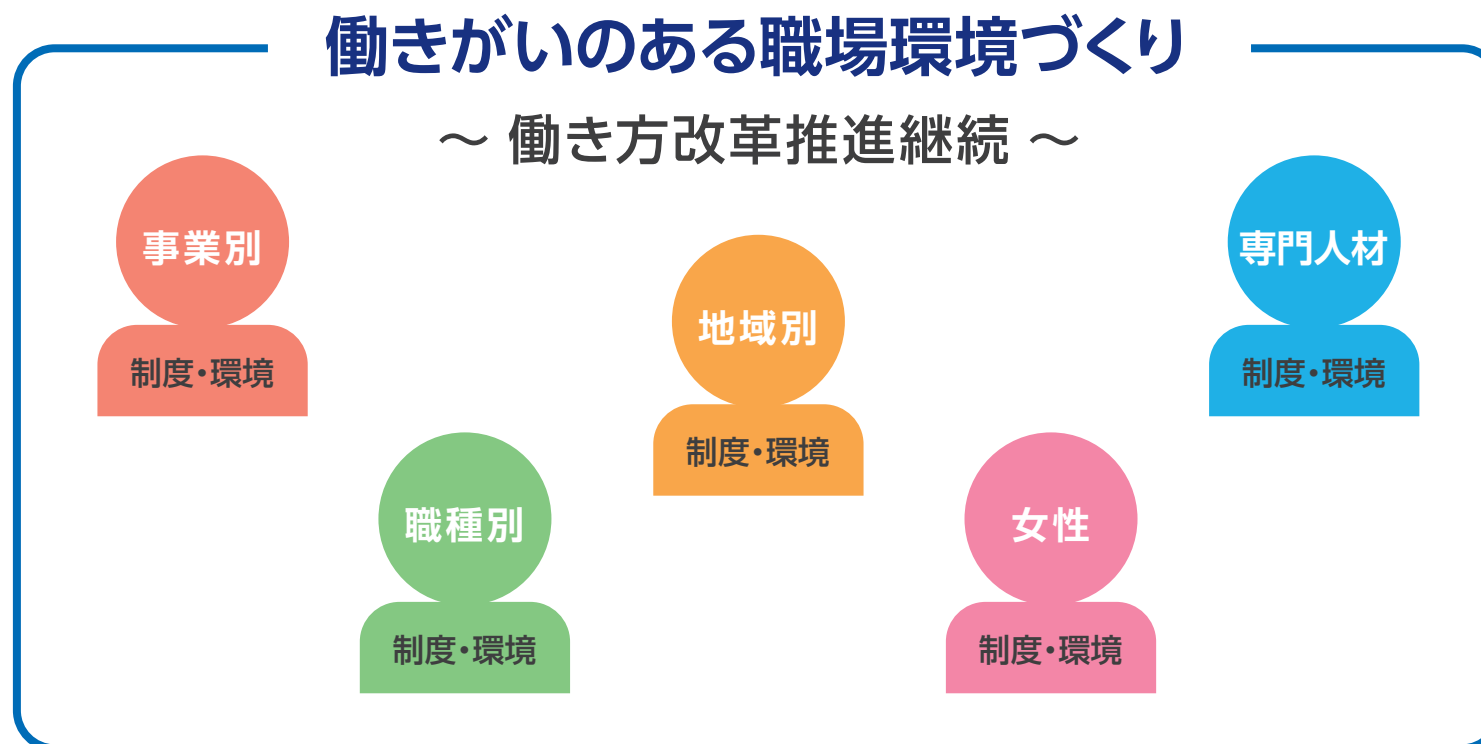


トナミグループの情報戦略を
最新の情報システム技術で支援する
「トナミシステムソリューションズ(株)」

5. 重点戦略

人材の確保

多様な人材を採用確保、
事業形態や地域特性に応じた人事制度の構築



5. 重点戦略

資本形成

自己資本比率の向上と安定した資本政策

利益配分に関する基本方針

将来の事業展開に備えた成長投資の原資を確保しつつ、
財務の健全性を維持することを前提に、
キャッシュフローの水準等にも留意し、株主の皆様へ安定配当を行う

ROE
6.0%

自己資本比率
50%以上

5. 重点戦略

経営品質の向上

経営品質 (CSR・BCP) と 成長性 (ESG) 評価や社会的認知度の向上

トナミホールディングスグループCSR重要課題

安全

輸送の安全確保
物流品質向上

環境

環境マネジメント
地球温暖化防止・
大気汚染防止
リサイクルの推進

社会

地域社会との
コミュニケーション
働きやすい
職場づくり

ガバナンス

コーポレート
ガバナンスの強化
コンプライアンスの
推進

関連するSDGs



6. 数値目標

(1) 投資計画

項 目	
土 地	特積み新店所、新倉庫
施 設	特積み新店所、新倉庫、既存施設増改築等
機 械	システム投資、サーバー代替等
そ の 他	車両代替等
3ヶ年合計 200億円	

6. 数値目標

(2) 連結業績目標

(単位:百万円)

	第21次中期経営計画 (最終年度)	第22次中期経営計画 (最終年度)	
	2021年3月期実績	2024年3月期目標	2021年3月期比
営業収益	134,695	160,000	118.8%
営業利益	6,455	8,000	123.9%
営業利益率	4.8%	5.0%	—
経常利益	7,146	8,300	116.2%
経常利益率	5.3%	5.2%	—
税引後当期純利益*	4,660	5,200	111.6%
当期純利益率	3.5%	3.3%	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、
当社が現在入手可能な情報に基づき合理的と判断したものであり、
実際の業績等は予想と異なる可能性があります。